

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●安田記念はソングラインが優勝

6月5日(日)に行われた安田記念(G I)ではソングライン(牝4歳/美浦・林徹厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。牝馬による同レース勝利は通算6度目のこととなります(G I格付け以降)。

●藤沢和雄元調教師を2022年度顕彰者に選定

本年2月に引退した藤沢和雄元調教師が顕彰者に選定されました。顕彰者(調教師)は「中央競馬通算おおむね1000勝以上」「G I競走延べ5勝以上」「年間最多勝利などで特に顕著な成績を記録」という選定基準をすべて満たす元調教師を対象に、JRA内に設置された選考委員会で選定されるもので、藤沢元調教師はJRA通算1570勝、うちG Iでは34勝(その他海外G Iを1勝)といった成績を残しています。

●ヴェルトライゼンデが中495日で重賞勝利

6月4日(土)の4回中京1日・第11レースとして行われた鳴尾記念(G III)ではヴェルトライゼンデ(牡5歳/栗東・池江泰寿厩舎)が勝利しました。同馬は2021年1月24日(日)のアメリカジョッキークラブC(G II)以来、中495日での出走で、グレード制が導入された1984年以降の重賞勝利としては、2007年京都ハイジャンプ(J・G II)のテイエムドラゴン(中573日)に次ぐ史上2番目、平地重賞勝利としては史上トップの長期間隔となります。

●スターズオンアース、マテンロウレオが故障

2022年の桜花賞(G I)および優駿牝馬(オークス)(G I)を制したスターズオンアース(牝3歳/美浦・高柳瑞樹厩舎)は、両第1指骨剥離骨折を発症していることが判明しました。今後3か月以上の休養を要する見込みです。2022年きさらぎ賞(G III)の勝ち馬マテンロウレオ(牡3歳/栗東・昆貞厩舎)は、左橈骨遠位端骨折を発症していることが判明しました。休養期間は未定です。

●マスターフェンサーが競走馬登録抹消

2020年の名古屋グランプリ(名古屋・Jpn II)などの勝ち馬マスターフェンサー(牡6歳/栗東・角田晃一厩舎)は、4月30日(土)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算12戦4勝・地方6戦4勝・海外3戦0勝で、今後は種牡馬となる予定ですが繋養先は未定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●東京ダービー(大井)は浦和の伏兵カイル【各地の主要3歳重賞】

東京ダービー(6月8日、大井、2000^円)は、2番手追走からゴール前250^mで抜け出した6番人気のカイル(牡、父トーセンブライト)が重賞初制覇を果たしました。逃げた1番人気のシャルフジンは8着でした。イーハトブマイル(5月29日、水沢、1600^円)は、3番手から直線に入って間もなく逃げ馬を交わした4番人気のフジクラウン(牡、父リーチザクラウン)が6馬身差で圧勝。九州ダービー栄城賞(5月29日、佐賀、2000^円)は、中団から差を詰めた6番人気のイカニカン(牡、父ダノンレジェンド)が直線半ばで差し切りしました。ぎふ清流C(6月2日、笠松、1400^円)は、逃げた単勝1.7倍で断然人気の兵庫からの遠征馬クリノメガミエース(牝、父エスポワールシチー)が後続を3馬身引き離して重賞初制覇。東海ダービー(6月7日、名古屋、2000^円)は、4番手から残り200^mを切った辺りで先頭に立ったタニノタビト(牡、父オルフェーヴル)が、2番人気のイイネイイネイイネの追撃をアタマ差凌ぎ、単勝1.2倍の圧倒的支持に応じて駿蹄賞に続く東海地区二冠を達成しています。

●6月15日の関東オークス(川崎)は無敗馬ドライゼが有力候補

関東オークス(Jpn II、3歳牝馬、6月15日、川崎、2100^円)は、ダートでデビュー以来2連勝中のドライゼが中心、以下スピーディキック(浦和)、リッキーマジック、グランブリッジ、ラブパイロの順に有力視されます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G 1英オークス～チューズデーが制す

現地時間6月3日にイギリスのエプソム競馬場で行われたG 1英オークス(3歳牝、芝2410^{メートル})はR.ムーア騎手が手綱を取ったアイルランド調教馬チューズデー(牝3歳、父ガリレオ)が優勝しました。管理するA.オブライエン調教師(52歳)はこれで英国クラシック41勝目となり、最多勝記録を塗り替えました。

●G 1仏ダービー～ヴァデニが5馬身差で快勝

フランスのシャンティイ競馬場で6月5日に行われたG 1仏ダービー(3歳牡・牝、芝2100メートル)は地元フランスのヴァデニ(牡3歳、父チャーチル)が先行策から直線で鋭く抜け出して5馬身差で優勝。前走5月のG 3ギシュ賞(芝1800メートル)に続く重賞連勝でビッグタイトルを掴みました。鞍上のC.スミヨン騎手はこのレース4勝目、管理するJ.C.ルジェ調教師は5勝目です。